

# 決 算 報 告 書

(第 2 期)

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

株式会社 エコスタイルパワープラント 4 号

# 貸借対照表

令和 3年 3月31日現在

株式会社 エコスタイルパワープラント4号

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	89,227,580	<b>【流動負債】</b>	67,832,687
現金及び預金	25,521,729	未払金	284,699
売掛金	11,418,526	未払費用	1,594,063
前払費用	609,658	預り金	30,425
未収消費税等	51,677,667	未払法人税等	3,603,500
<b>【固定資産】</b>	847,779,427	関係会社短期借入金	19,000,000
<b>【有形固定資産】</b>	841,696,635	1年内返済予定の長期借入金	43,320,000
構築物	10,733,286	<b>【固定負債】</b>	865,348,120
機械及び装置	640,739,819	長期借入金	599,348,120
土地	190,223,530	関係会社長期借入金	266,000,000
<b>【投資その他の資産】</b>	6,082,792	負債の部合計	933,180,807
長期前払費用	797,538	純資産の部	
繰延税金資産	5,285,254	<b>【株主資本】</b>	3,826,200
		資本金	10,000,000
		利益剰余金	-6,173,800
		その他利益剰余金	-6,173,800
		繰越利益剰余金	-6,173,800
		純資産合計	3,826,200
資産合計	937,007,007	負債及び純資産合計	937,007,007

# 損益計算書

自 令和 2年 4月 1日  
至 令和 3年 3月31日

株式会社 エコスタイルパワープラント 4号

(単位：円)

科 目	金 額	
<b>【売上高】</b>		
売 上 高	70,164,493	
売 上 高 合 計		70,164,493
<b>【売上原価】</b>		
当 期 製 品 製 造 原 価	36,393,280	
合 計	36,393,280	
製 品 売 上 原 価		36,393,280
売 上 原 価		36,393,280
売 上 総 利 益		33,771,213
<b>【販売費及び一般管理費】</b>		
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		11,747,989
営 業 利 益		22,023,224
<b>【営業外収益】</b>		
受 取 利 息	976	
受 取 保 険 料	49,500	
雑 収 入	1,351,711	
営 業 外 収 益 合 計		1,402,187
<b>【営業外費用】</b>		
支 払 利 息	4,356,854	
支 払 手 数 料	692,400	
営 業 外 費 用 合 計		5,049,254
経 常 利 益		18,376,157
税 引 前 当 期 純 利 益		18,376,157
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		2,926,249
法 人 税 等 調 整 額		2,031,913
当 期 純 利 益		13,417,995

# 株主資本等変動計算書

自令和 2年 4月 1日

至令和 3年 3月31日

株式会社 エコスタイルパワープラント 4号

(単位：円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合計	
		その他利益剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	10,000,000	-19,591,795	-19,591,795	-9,591,795	-9,591,795
当期変動額					
新株の発行				-	-
剰余金の配当					
当期純利益		13,417,995	13,417,995	13,417,995	13,417,995
株主資本以外 (純額)					
当期変動額合計	-	13,417,995	13,417,995	13,417,995	13,417,995
当期末残高	10,000,000	-6,173,800	-6,173,800	3,826,200	3,826,200

# 注 記 表

株式会社 エコスタイルパワープラント4号

## 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 重要なヘッジ会計の方法

#### ヘッジ会計の方法

特例処理の要件を満たす金利スワップについては、特例処理を採用しております。

#### ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段…金利スワップ

ヘッジ対象…借入金の利息

#### ヘッジ方針

有利子負債の将来の市場金利の変動による損失を軽減する目的で金利スワップ取引を利用しており、投機目的の取引は行わない方針であります。

#### ヘッジの有効性評価の方法

金利スワップの特例処理を採用しているため、ヘッジの有効性の判定は省略しております。

### 固定資産の減価償却の方法

#### 有形固定資産

定額法を採用しています。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

構築物・・・10年

機械装置・・・17年

### その他計算書類の作成のため基本となる重要な事項

消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しております。

以上のとおり報告します。

令和 3年 6月 1日

株式会社 エコスタイルパワープラント4号  
代表取締役 木下 公貴